

南アフリカ為替週報

2021年9月16日 | みずほ銀行欧州資金部

〈過去1週間の動き〉

(9月9日～9月15日)

USD/ZAR: 14.0650～14.4900

ZAR/JPY: 7.56～7.80 (参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は、上値固めの堅調推移先行から、予想外に明確に反落。どちらが原因で、どちらが結果かは判然としなかったものの、この間、ランドの値動きは、大枠として、南ア国債の値動きと密接に連動していた(ランド下落=南ア国債下落(利回り上昇))。一方で、14日発表された米8月CPIの小幅下振れは、米長期金利低下とドル全面安とを招いたが、並行して、南ア長期金利が上昇、ランドが(対ドルでも)下落したのは目を引く値動きと言えた。そこに何か南ア固有の悪材料でもあったかと言うと、これと言って分かり易いものは見当たらなかった。この間発表された南ア経済指標は、第2四半期経常収支が高水準の黒字を維持した一方、7月製造業生産、同小売売上高はいずれも市場予想を大幅に下回る落ち込みを見せた。いずれも7月に起きた暴動の影響と思われたが、そういう意味で、同鉱工業生産の前年比+10.3%という数字(前月比でも+4.1%)をどう評価するかは判断が難しいと感じられた。南ア主要輸出産品のひとつであるプラチナの底割れ(10日)が、或いは、週末を挟んで、13日以降のランド下落、昨年11月来10ヵ月ぶりの安値更新に影響した可能性は考えられたらう。

〈過去1週間に発表された主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
9/9	9:00	経常収支(ZAR)	Q2	+343bn	+334bn	+261bnr
	11:00	製造業生産(前年比)	7月	-4.1%	+3.0%	+11.9%r
9/14	9:30	鉱業生産(前年比)	7月	+10.3%		+19.1%
9/15	11:00	小売売上高(前年比)	7月	-0.8%	+3.3%	+10.5%r

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

〈向こう1週間の見通し〉

(9月16日～9月22日)

USD/ZAR: 16.000～17.100

ZAR/JPY: 6.20～6.40

向こう1週間の南ア・ランド相場は、続落を予想。14日の米8月CPI発表後、全面安に陥ったドルに対し、ランドは明確に下落した数少ない通貨のひとつ(注)だったが、仮に、ドル安そのものが長続きしないとしたら、ランドが反発する可能性よりは、対ドルで更に水準を切り下げる可能性の方が高いように思われる(要するに、最弱通貨としての地位は目先変わらないと見込まれる)。ドルの反発を見込むのは、8月CPIの下振れを、「米物価減速の兆候」と読むことに違和感を抱くから。下表は単なる頭の体操に過ぎないものの、6ヵ月ぶりの低水準と言われた前年比+0.3%という物価が、どういう水準かを試算したもの。素材価格やロジ関連費用など供給側の要因、賃金動態、景気動向などを勘案すると、前月比+0.3%が、このまま+0.2%、+0.1%と一方的に減速していく可能性は見込み難いのではないか。中段は、仮に9月以降、前月比CPI

	前月比 +0.3%		前月比 +0.2%		前月比 +0.1%	
	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比
21年8月	273.012	(%)	273.012	(%)	273.012	(%)
21年9月	273.831	5.26	273.558	5.15	273.285	5.05
21年10月	274.653	5.45	274.105	5.24	273.558	5.03
21年11月	275.476	5.58	274.653	5.26	273.832	4.95
21年12月	276.303	5.64	275.203	5.22	274.106	4.80
22年1月	277.132	5.68	275.753	5.16	274.380	4.63
22年2月	277.963	5.62	276.305	4.99	274.654	4.37
22年3月	278.797	5.29	276.857	4.56	274.929	3.83
22年4月	279.634	4.80	277.411	3.96	275.204	3.14

が毎月+0.2%で推移すると仮定した場合(そんなことは起こりえないが)、前月比CPIが何%になるかを単純に試算したものだが、5月から年明けまで9ヵ月連続で+5%台にとどまる可能性を示唆している。期待インフレ率の高まりを警戒するに十分な状況と言えるのではないか。南ア要因では、目先、政治に絡む材料ぐらいしか思いつかないが、その具体的な内容やタイミングを予見するのは難しい。南ア国債やプラチナにはもう一段の下押し余地があるようにも見えるが、これもテクニカルな要因でしかない。勿論、22日の南ア8月CPIには注目が必要だが、これも数字を見るまでは反応のしようがないだろう。

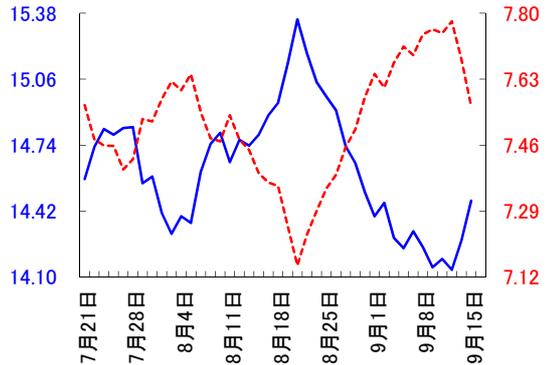
〈向こう1週間に発表予定の主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
9/22	8:00	CPI(前年比)	8月		+4.8%	+4.6%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

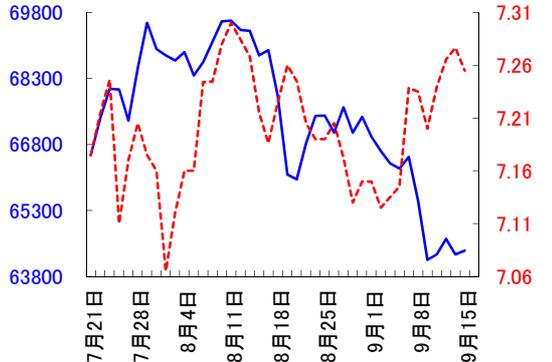
為替相場の推移(資料:ロイター)

実線/左軸:対米ドル、点線/右軸:対円



株式/長期金利の推移(資料:ブルームバーグ)

実線/左軸:JSE全株、点線/右軸:10年スワップ金利



南アフリカ関係主要経済指標

政策金利(レポ金利)		3.50%
長期金利(10年スワップ)	9月15日	7.255%
株価指数(JSE全株)	9月15日	64385.13
成長率(GDP/前年比)	Q2	+19.3%
経常収支(ZAR)	Q2	+343bn
失業率	Q2	34.4%
消費者物価(前年比)	7月	+4.6%
小売売上高(前年比)	7月	-0.8%
製造業生産(前年比)	7月	-4.1%
鉱業生産(前年比)	7月	+10.3%
貿易収支(ZAR)	7月	+37.0bn
金価格(ロンドン 17:00)	9月15日	1793.92

(注) 他にはポーランド・ズロチ、ブラジル・レアルぐらい

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。